

カンキツ園におけるミドリヒメヨコバイ類の発消長

橋元祥一 (鹿児島県高山農業改良普及所)

Syoichi HASHIMOTO: Seasonal Prevalence of the Small Green Leafhoppers in Citrus Orchards

ミドリヒメヨコバイ類の生息数は、ポンカン園では秋季に集中的な波状飛来を繰り返しながら増加する²⁾が、現行の適用薬剤は残効性が低い¹⁾ので、発生量の多少や集中飛来時期の予測は防除上重要なポイントとなる。

1. 試験方法

30×60cmの黄色のプラスチック板を円筒形にし、外面に粘着剤を塗布して、カンキツ樹間の地上1.5mに設置した。調査は10月1日から3月31日まで行い、1976～'79年までは1週間のうち3日、'80年以降は連日トラップを設置して、午前10時に誘殺虫数を調べた。

2. 結果

1) ポンカン園における誘殺虫数の年次変動 (第1表)

1976年以降の誘殺虫数は、11頭から2381頭の範囲で変動しており、年次間差が大きかった。少発年は8月下旬から9月にかけて台風が襲来しており、1990年のような例外もみられるが、この時期の台風襲来はポンカン園へのミドリヒメヨコバイ類の飛来量を左右すると考えてよさそうである。

最多誘殺時期は11月下旬から12月中旬であったが、日別誘殺虫数は大きく変動しており、これと気象要因との関連性は見い出せなかった。

2) カンキツ園周辺における誘殺消長

1986年10月～12月に、普通畑の土手にトラップを設置して、ヒメヨコバイ類を誘殺した。その結果、トラップ当たり2.2頭しか誘殺されず、ポンカン園の84.3頭とは明らかに差がみられた。本調査は、カンキツ園における本虫の分散とポンカン園内への移入の同調性をみようとしたものであるが、チャ園では黄色トラップにチャノミドリヒメヨコバイが反応しない (鬼丸, 私信) ことが観察されており、調査方法も含めて再検討の必要がある。

3) 大橋園における誘殺消長 (第2・3表)

大橋園とポンカン園におけるミドリヒメヨコバイ類の誘殺消長を比較すると、ポンカンの果実が樹上に存在する12月まではポンカン園の誘殺虫数が明らかに多く、ポンカン果実の収穫が終わる1月以降は大橋園の方が多かった。このことは、本虫のカンキツ類に対するし好性の種

間差を示すものであり、同時に、現在はあまり重要視されていない晩柑類における冬季 (1～2月) の防除要否の検討の必要性を示唆している。また、ポンカン園では果実を加害しない10月上～中旬や果実のない1月以降にも相当数誘殺されているが、この生態的意味の解明は、カンキツ園内への波状的な飛来の解明にもつながると思われる。

引用文献

- 1) 橋元祥一: 植物防疫 39 (12), 560-563, 1985.
- 2) 橋元祥一・河野通昭: 九病虫研会報 32, 200-202, 1986.

第2表 大橋園におけるミドリヒメヨコバイ類の発消長 (1989-'90年)

品 種	1989 Oct.			Nov.			Dec.			合計
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
大 橋	-	172	282	128	30	569	111	62	57	1411
ポンカン	157	353	532	178	121	698	152	115	75	2381
品 種	1990 Jan.			Feb.			Mar.			合計
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
大 橋	65	76	100	94	166	146	80	16	3	746
ポンカン	24	16	17	21	30	18	43	17	4	190

第3表 大橋園におけるミドリヒメヨコバイ類の発消長 (1990-'91年)

品 種	1990 Oct.			Nov.			Dec.			合計
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
大 橋	63	6	4	13	21	9	196	37	54	403
ポンカン	174	78	40	107	114	85	416	99	48	1161
品 種	1991 Jan.			Feb.			Mar.			合計
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
大 橋	19	104	50	54	12	31	17	17	2	306
ポンカン	6	83	22	9	5	8	10	5	3	151

第1表 10～12月のポンカン園におけるミドリヒメヨコバイ類の発生状況

年 次	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990
誘 殺 虫 数	311	89	674	517	58	674	61	428	11	42	263	97	88	2381	1161
最 多 誘 殺 時 期*	11/3	なし	11/3	11/3	12/1	11/2	なし	11/2	なし	なし	12/3	12/2	12/2	11/3	12/1

注) *黄色粘着トラップに最も多く誘殺された時期を月/旬で、“なし”は顕著なピークがみられなかったことを示す。